

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	109 -	事業名	介護保険・任意事業			担当部課	福祉部長寿課			
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 人がいきいきとつながるまち	会計区分	介護保険特別会計						
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	予算区分(款 - 項 - 目)							
	第6次総合計画・基本目標	✓ 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち	3-2-2 任意事業費							
	法定受託事務の有無	-								
	その他(関係計画、要綱等)	✓	長久手市第8次高齢者福祉計画及び第7期介護保険事業計画							
事業開始の背景、経緯等	地域の実情に応じて、市町村の任意事業として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるための事業を行う。									
事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 高齢者への配食サービスの提供による見守り、栄養状態の維持・改善を図る事業、成年後見制度の充実に係る事業等								
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 主として市内在住の65歳以上の人								
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) いつまでも住み慣れた地域で自分らしく生活できるようにする。								
	事業を構成する事務事業(B票)	① 介護保険・任意事業	拡充	④						
	②			⑤						
	③			⑥						
コスト推移	項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)		
	事業費(A)	千円	予算	2,135	2,837	18,023	15,945	19,418		
			決算	1,709	2,784	17,524	16,522			
	人件費(B)	千円	決算	-	7,913	4,833	4,559			
総コスト(A)+(B)	千円	決算	-	10,697	22,357	21,081				
成果推移	成果指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)		
	A 食の自立支援事業配食数	回	目標	30,200	34,100	38,600	38,600	46,920		
			実績	32,424	33,276	37,938	42,023			
	B		目標							
			実績							
	C		目標							
実績										
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)										
A 食の自立支援事業による配食の回数										
B										
C										
環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化 (他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 全市町村で行っている事業であるが、各市町村の地域の実情に応じた取組がなされている。									
評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 概ね達成されている。								
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 宅配業者の数を2者に増やし、昼食と夕食を選択できるようにした。								
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 独居高齢者や後期高齢者のみの世帯が増加しており、支援を必要とする人は増加傾向にあるが、事業にかけられるコストには限りがあり、間接的な支援者を増やしていく必要がある。								
今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 地域のネットワークを構築し、多様な主体が高齢者のケアに携わる仕組みづくりを進める。								
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 5年後を目途として、本市としての地域包括ケアシステムにどう位置づけるか合意形成を図る。								

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・令和元年度からは、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。
------	-------------------------	--

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	介護保険・任意事業		担当部課	福祉部長寿課	決算書ページ	—
事務事業名	①	介護保険・任意事業	予算区分	3-2-2 任意事業費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	平成18年度	終了(予定)年度	-		

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 対象：原則として市内在住の65歳以上の高齢者への配食サービスの提供による見守り、栄養状態の維持・改善を図る事業、成年後見制度の充実に係る事業等
意図	(対象をどのような状態にしたいか) いつまでも住み慣れた地域で自分らしく生活できるようにする。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
事業費	千円	予算 決算	2,135 1,709	2,837 2,784	18,023 17,524	15,945 16,522	19,418
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1)		「食」の自立支援事業委託					12,607 千円
(2)		成年後見センター負担金					2,237 千円
(3)		「食」の自立支援事業訪問調査委託					1,096 千円

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
食の自立支援事業配食数	回	見込	30,200	34,100	38,600	38,600	46,920
		実績	32,424	33,276	37,938	42,023	
		見込 実績					
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							
高齢者への配食サービスの提供による見守り、栄養状態の維持・改善を図る事業、成年後見制度の充実に係る事業等							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

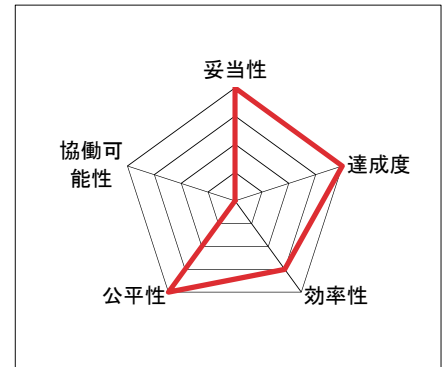
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
全市町村で行っている事業であるが、各市町村の地域の実情に応じた取組がなされている。

## 5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況
(前年度【予算額】) (今年度【予算額】) (増減額)
15,945 千円 19,418 千円 3,473 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》
・前年度【今後の方向性】 現状維持
・前年度【コメント】
地域のネットワークを構築し、多様な主体が高齢者のケアに携わる仕組みづくりを進める。
(3) 改善状況
(何をどのような状態に改善したのか)
継続的に実施することで、定期的な見守りを実施した。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	4
達成度	4
効率性	3
公平性	4
協働可能性	-



### 【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
見込				
実績				
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
高齢者に対する福祉サービスであるため。				

### 【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
月に1回配食サービスを行う事業者の食事を検食している。また、実際に市民にサービス等の案内を行う機会がある民生委員・児童委員に対して試食会を開催した。

### 【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
配食数が年々増加している。現在の利用者も含め、食の自立支援事業として配食が必要な方を見極める必要がある。

## 7. 今後の方向性

拡充